

トップメッセージ

芝浦メカトロニクス株式会社
代表取締役社長 南 健治

はじめに

21世紀に入り、国際情勢や国内外の社会情勢の変動、また、地球温暖化問題に代表される環境問題の深刻化、2008年秋に生じた世界規模の経済危機など、われわれの予想を超える状況が続いています。世界の「形」、経済の「形」が変わってきました。その中で、企業に求められている課題が変わってきました。自社の技術やノウハウを用いて優れた製品やサービスをお客様に提供し、売上・利益をあげ、株主の皆さまに還元するという従来からの企業の課題に加えて、「企業の公共政策」「社会、環境問題の解決方法を事業に統合する」というCorporate Social Responsibility = CSRの重要性が高まってきました。

現代社会における重要問題である貧困、飢餓、食糧問題、格差、環境破壊、エネルギー、資源枯渇、経済不況等、これらの問題に取り組み、今日生きているわれわれの世代だけではなく、将来の世代にとっても、より良い生活のできる世界をつくるのが、今日重要な課題であることを企業は認識しなければなりません。その課題達成のために、国際機関、国家、NPOやNGO、市民に加えて、すべての企業も協力することが求められており、このことがCSRであると私たちは考えています。企業はこれらの問題に対し、事業を通じてアプローチし、ビジネス戦略に落とし込んで活動

を行うことが求められています。企業の「形」、事業戦略の「形」を変えていかなければなりません。

芝浦メカトロニクスグループのCSR

芝浦メカトロニクスグループはフラットパネルディスプレイ、半導体、光ディスクなどのメーカーに製造装置を納入し、これらの製品製造の一端を担うことを事業としております。モノづくりのメーカーであること、事業分野が最先端技術の電子部品の製造装置業界であること、これらの立場を踏まえ、その特徴を生かしたCSRとして、私たちは次のような活動を進めています。

環境問題に関する取り組み

地球温暖化防止のために低炭素社会・循環型社会への転換を目指し、現在当社グループでは、「使わない」「出さない」をキーワードとした事業を進めており、その際に排出するCO₂を削減する事業系の取り組みを行っています。現在は「原単位」によるCO₂削減目標を設定していますが、今後は総排出量を削減することが重要と考え、長期計画の策定を検討中です。また、お客様がより少ないCO₂排出量で商品を製造する製造装置を市場に送り出す製品系の取り組みを進めてきま

した。さらに、当社の持つコア技術であるレーザ技術や自動化技術等を応用し、地球温暖化防止に大きな力となる電池事業を現在新たに進めています。

社会問題に関する取り組み

当社グループでは、そこで働いている従業員を大切にすることが基本であると考えてさまざまな活動を進めています。私たちは、従業員を「人財」と呼んでいますが、これは「一人ひとりの『人』、個々人の能力や技量こそが、当社グループの事業である製造装置の開発・設計・組立・試験を直接支えている」という共通意識があるからです。これらの「人」=人財こそが会社の最も大切な財産、当社グループ最大の経営資源であり、人の育成こそが、当社グループの事業の基本だ、と考えるからです。そして、その人財である従業員がいきいきと働き、主体となってCSR活動を展開していく、このことが「人が生きるCSR」という当社グループのCSRの基本です。

このような会社が現在進めているCSR活動を一冊にまとめてみました。できるだけ多くの方々にご覧いただき、忌憚のないご意見・ご批判をいただければ幸いです。

企業行動理念

すべてに革新を… 芝浦メカトロニクスグループは、商品を通して常に新たな可能性をお客様に提供し、社会の発展に寄与したいと考えています。そして、諸活動を通じて常に社会に貢献し続けられる企業として、革新を進めていきます。

合理性の追求… 芝浦メカトロニクスグループは、機能・性能・価格・サービスすべての面で、お客様にご納得いただける商品を提供していくために、たゆみなく合理性を追求し続けていきます。

人間性の尊重… 芝浦メカトロニクスグループは、人と人との繋がりを大切にしています。お客様、株主・投資家、従業員、お取引先、地域社会の方々とのコミュニケーションを通して、幸せな社会を築いていきたいと考えています。